

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由		
家計 動向 関連  (北関東)	良くなる やや良くなる	商店街（代表者）	・2月から新入生向けの販売が学校によっては始まる。忙しくなるため、今よりも良くなると思う。		
		一般小売店〔家電〕 （経営者）	・次年度における売電価格の低下を見越すと同時に今年度中の太陽光発電システムへの補助金獲得を意図した駆け込み需要に期待している。		
		百貨店（営業担当）	・政権交代で、景気への期待感がある。		
		百貨店（営業担当）	・新政権になり、株価も若干上がり、円安の傾向に走っているため、消費も若干浮上するという期待感がある。		
		百貨店（店長）	・政権が変わったことで、景気が良くなるというムードが芽生えている。		
		スーパー（店長）	・客単価を上げる要因の1つである1点当たりの単価が上がっているため、近隣のお金は回り始めていると感じる。このままの状況が続くと思うため、多少は良くなる。		
		スーパー（統括）	・全体の売上高が11、12月と2か月連続で昨対を上回り、食品、衣料品が共に堅調な動向から、消費マインドは底堅さが感じられ、株価の回復や円安傾向で景気回復への期待感が持てる。		
		家電量販店（店長）	・新政権誕生で経済重視の政策が期待できるのだろうか。エコポイントのような施策を期待する。		
		乗用車販売店（経営者）	・決算期に向かって需要の増加が期待される。		
		乗用車販売店（統括）	・3月の期末決算に向けて、毎年、自動車販売台数が増えるためである。		
		自動車備品販売店（経営者）	・毎年2、3月は車の販売なども需要期であることや、今回の政権交代などが手伝って、やや景気は好転すると予想される。		
		一般レストラン（経営者）	・来月からは新年会が多く入っている。新政権となって今後どのようなようになるか楽しみである。		
		スナック（経営者）	・政権交代したことへの期待感がある。何となく客の話が明るくなってきたような気がする。		
		観光型ホテル（営業担当）	・政権交代に伴い、デフレ脱却と経済再生に皆、多少は期待感を持っている。		
		都市型ホテル（スタッフ）	・政権も変わったので、少しは景気が良くなると期待している。また、飲食関係においては、これから新年会、歓送迎会というシーズンに入ってくるため、少しは期待できる。		
		旅行代理店（経営者）	・新政権に変わったため、景気はやや良くなると期待している。旧政権があまりにも悪すぎたため、皆も同じ考えているのではないかと。		
		旅行代理店（副支店長）	・総選挙が終わり、各報道で景気の上向き感、金融緩和を含めて上向いていく様子がうかがえる。また、当地域においては新政権が大勝したことにより、景気が良くなることを期待するとともに、良くなる感が出ている。		
		通信会社（営業担当）	・急激な変化はないまでも、今後新政権下での景気対策が順調に推移すれば、少しずつ消費が高まる可能性がある。		
		通信会社（局長）	・政権交代により、景気回復に対する期待感も高まっている。		
		その他サービス 〔フィットネスクラブ〕 （支配人）	・旧政権から新政権に変わったことで日経平均株価が上昇したことが、良い方向へ作用すると思う。		
		設計事務所（経営者）	・年度内は仕事が重なり、対応に追われる。		
		住宅販売会社（従業員）	・政権交代後の景気対策に期待する動きが出てくると思う。		
		住宅販売会社（経営者）	・前政権の閉塞感からやっと小さな光が見え、将来に向けての期待感でやや顧客の動きが良くなると思う。		
		住宅販売会社（経営者）	・新政権によって経済成長が2%上昇ということが可能になると同時に金融緩和策が功を奏して、金融機関がもう少し融資条件を緩くしてくれれば、少しは良くなりそうである。		
		住宅販売会社（従業員）	・政権が変わり、円安が継続することで自動車産業に安ど感が出てくれば、当地域の市場は更に良くなると思う。		
		変わらない	変わらない	商店街（代表者）	・良くなるよう期待はするが、現在の様子では良くなるとは到底考えられない。
				一般小売店〔精肉〕 （経営者）	・政権が変わったため、土木建築業も明るさが出てくれば良いと思う。他の業者も期待できそうではあるが、不安である。
一般小売店〔家電〕 （経営者）	・必要な物以外の消費がないなかで、売上の維持も厳しい。エコ家電の需要も故障時の買換えしか望めず、また、安価な家電製品は量販店との価格競争にはかなわないため、製品販売だけでは先行きは厳しい。				

百貨店（販売促進担当）	・今年の冬物クリアランスは今夏と違い、日程に大きな変更がないためマイナス要素は少ないと思う。しかし、従前の流れである節約志向は今後も続き、政権が交代し、多少の高揚感が出て現状と変わらないと思う。
百貨店（販売促進担当）	・価格訴求に対する消費者の反応は良いため、クリアランスセールは多少期待できるが、その後は好転する要因は見当たらない。新政権で情勢は若干変わらと思うが、それが消費につながるとは思えない。
百貨店（販売担当）	・来客数はここ数か月、前年とほとんど変わらない。
スーパー（経営者）	・政権交代により具体的な効果が現れるのかは、不透明である。
スーパー（店長）	・曜日ごとの客数は、数か月間変化がない。
スーパー（総務担当）	・新政権に変わり、円安、株価の上昇等期待は感じられるが、個人の収入が実際に増えないと消費に回ってこない。
コンビニ（経営者）	・コンビニで売っている物はネットやスーパーやドラッグストア、ホームセンターで更に安く買えるため、やや苦戦している。しかし、近くの有料トンネルの通行券などは1日に7万円以上売れる日があるため、金額にかかわらず必ず使うという商品の更なる強化を目指している。
コンビニ（経営者）	・数年前のように、ヒット商品でも出ない限り変わらない。
コンビニ（経営者）	・先行き期待感はあるが、根本的改善にはまだ遠く、低迷時期がまだまだ続く。客が慎重である。
コンビニ（店長）	・客の購買意欲は、季節ごとの商品を買うということが薄れてきているため、若干変わってくると思う。しかし、普段の買物自体は、逆にあまり変わっていないと思う。
衣料品専門店（統括）	・年末年始の買物客が多い時期ではある。しかし、今年は年始用の注文はある程度入ったが、一般のフリーの客がほとんど街の中に出てこない状態である。今後もこの街に客が戻るのがいつなのか、検討がつかない。
家電量販店（営業担当）	・新政権になり、いきなり改善は考えられない。時間はかかると思うが期待している。
乗用車販売店（営業担当）	・ユーザーの関心がエコカーにあるように思う。燃費の良い車中心の商談になりそうである。件数はまだまだ少ない。
住関連専門店（経営者）	・都市部での景気がやや上向いても地方に反映されてくるのは常に半年後くらいで、しかも緩やかな場合がほとんどである。
住関連専門店（仕入担当）	・安売りへの反応も必要以上の購買数にはつながらず、消費については厳しい状況が続く。
一般レストラン（経営者）	・このデフレの状況から脱却しないことには、なかなか経済状況が良くなるとは思わない。政権が交代したため少しは期待できるが、すぐに効果は出ないと思うため、しばらくは変わらない状況が続く。
一般レストラン（経営者）	・飲食店関係全体では、まだまだ安定した商売になるほど来客数、客単価共に動きは見られない。
一般レストラン（経営者）	・政府の政策も、国民にとっては用心のためにという思考に変わってしまうのではないかと。
スナック（経営者）	・良くない状態のまま変わらない。いよいよ政権が交代したが、これから少しでも良くなることを期待している。
観光型旅館（経営者）	・今月の売上と来月の予約状況が前年と同等である。しばらく顧客の動向に変化はないと思う。
都市型ホテル（営業担当）	・12月の好調時期を通過し、年が明けると若干下がるという傾向がある。現在、株が上がったり、円安になったりと少し景気が改善しているが、やはり雇用が非常に厳しい状況がまだ残っているため、必ずしもビジネスホテルの稼働が良くなるとは思わない。プラスマイナスがあって変わらない。
旅行代理店（所長）	・今年末は、休日をうまく使えば最大9連休となるため、比較的平準に旅客が動いている感じがする。列車あるいは自動車の動きから見ても、上向きに推移していると感じる。
旅行代理店（営業担当）	・2013年は、国内や国外においても話題になるイベントがこれといってないため、旅行業界にとっては業績が上向き要素がない。
タクシー（経営者）	・景気が急に良くなるはないので、この先も変わらないと思う。
通信会社（経営者）	・政権与党が変わり、来年以降のデフレ脱却に期待するが、仮に想定どおりに行ったとしても、実際に景気回復を肌で感じられるには2～3年はかかると思う。
通信会社（経営者）	・まだまだ一般企業や店舗は不景気な話題で持ち切りである。年度末に向けた営業もことごとく先送りになり、数か月で持ち直すとは到底考えられない。
通信会社（総務担当）	・政権交代の影響を期待したいが、まだ先行きが不透明なため数か月では変化は期待できない。

	通信会社（販売担当）	・政治不安や大手メーカーの業績不振が続いており、3か月ぐらいの間では改善できないと思う。
	テーマパーク（職員）	・前年に比べて、クリスマス連休の日並び悪く、また寒波の到来など天候の影響から来客数が伸びない。
	遊園地（職員）	・回復基調を期待したいが、先行き不透明な状況が続いている。
	ゴルフ場（業務担当）	・12月については、入場者数が前年比でほぼ同じであるが、売上が前年より減っている。ここ2、3か月は、なかなか前年までの売上に届かない状況である。向こう2、3か月については、これまで1月は前年比を上回る傾向であったが、単価がそこまで伸びるかは疑問である。収益面にその分が跳ね返ってくるとは思えないため、入場者が確保できて売上も伴わず、収益の改善にはなかなか結び付かないと思う。
	競輪場（職員）	・年末の競輪グランプリの売上が、前年度とほぼ同額である。
	その他サービス〔清掃〕（所長）	・お歳暮や新年の買物等で購買意欲は高まるが、その後は元の買い控えになり、期待はできない。
	その他サービス〔立体駐車場〕（従業員）	・2月から3月ぐらいにかけては春の梅祭りということで、毎年来客数、販売量共に同じぐらいで推移している。そのため、来年の2、3月についても同じように感じられるため、変わらない。
	設計事務所（所長）	・東北方面に何人が現場職人が加勢に行く始末である。できれば地元で忙しくなれば良いのだが、なかなか難しい。現状維持から少しでも上昇させたい。
	設計事務所（所長）	・久しぶりに具体的な問い合わせがあったが、これは政権交代によるものではない。これまでの積み重ねが丁度今になった、という感じであり、全体の底上げに結びつくものではない。
やや悪くなる	百貨店（店長）	・政権交代による期待から株式市場は上昇しているが、本当に期待通りになるのか。たとえ景気が回復してきても、個人消費に結びつくのはかなり先の話である。
	スーパー（経営企画担当）	・11月頃から買い渋りになり、点数が上がりなくなっている。
	コンビニ（経営者）	・1月から3月にかけて雪も多くなって非常に寒いこともあり、また、特にイベントもあまりないことから、12月の暮れの盛り上がりから比べると、冷え切った商売になりそうである。
	コンビニ（経営者）	・年末が終わり、イベントもなくなるため、やや悪くなる。
	コンビニ（経営者）	・客の買物が少なくなってきている。一人当たりの客単価がどんどん低下していく。客の財布のひもがだんだん固くなっていくことが原因である。
	衣料品専門店（店長）	・今月は政権交代による景気上昇の期待感が高まり、株価の上昇や円安に大きく影響したため、景気が上向きに動き、中旬以降の売上が比較的良かった。2、3か月先の状況は、政府の政策次第ではあるが、このまま上向きの動きで今月のような状態が続くと思うが、一般家庭の収入増がないと景気が依然として厳しい。
	衣料品専門店（販売担当）	・年明けとともにセール待ちという客もたくさんいると思うが、現実的にはもう1か月ぐらい前倒しして12月からセールに入っている。それでも客の購買意欲、来客数そのものが激減している。今後も年明け早々にぎわいは多少は期待できるが、その後は例年通り暇な2月が目の前に待っており、3月まで伸びていってしまうのではないかと、残念ながら冷え込んだ気持ちでいっぱいである。
	乗用車販売店（従業員）	・販売台数も減少傾向になっており、エコカー補助金の終了で今後伸びる要因がない。
	乗用車販売店（販売担当）	・当社は外国車を扱っているが、ここ12月にきて極端に来客数も減っており、新車の登録も極端に少ない。降雪の状況や、観光客の来場者、宿泊によって随分左右されるため、来年の1、2月は極端に寒いということで、恐らくホテル関係の客も少ないと思う。また、少ないということは当然、従業員も財布のひもが固くなるため、よほど良い要素がない限りは、来年の1～3月あたりは少し落ち込むのではないかと。
	高級レストラン（店長）	・春の観光シーズンまで、トンネル事故の心理的影響や交通渋滞の解消がかなり残ると思うため、影響が出る。
	スナック（経営者）	・先の見通しがきかない状態になっている。
	都市型ホテル（支配人）	・宿泊及び宴会の予約は例年より少なめで、間近になって予約する人が多く、先が読めない。例年より予約状況が悪いことが予想される。
旅行代理店（従業員）	・円ドル為替レートや、燃油サーチャージが不安定のためである。	

		旅行代理店（副支店長）	・近隣の会社の景気が良くない。週末3～4日というところが出始めている。当然ながら海外出張や社員旅行などの話が減ってきており、今後の旅行において大きなダメージが懸念される。また、燃油や為替が安定していないこともあり、海外旅行については、客も料金に対して敏感になっている。
		タクシー運転手	・昼間と深夜の客が少ない。早く景気が良くなってほしい。
		タクシー運転手	・現在、競争相手がなくなり、駅周辺での営業は当社だけでやっているが、来年は他の会社が入る予定である。
		その他レジャー施設 【アミューズメント】 （職員）	・一頃と違って、アミューズメント系の店が増えているということはないが、全体的に客の流れが少なくなっている傾向は続くと思う。
		美容室（経営者）	・1月の後半から寒気が入りやすくなり、非常に寒くなると客も外出しないため、売上が激減する。
	悪くなる	商店街（代表者）	・年が変われば一段と出費が増えるとの声が多い。買物も控えめに済ましているように感じる。
		商店街（代表者）	・閉店や廃業店が最近多く、商店街の形をなしていない状態のため、目的買いの客以外の来店も少ない。
		一般小売店【衣料】 （経営者）	・観光客の動きは、今月は少なかったが、正月はかなり増えていきそうである。地域にお金が落ちれば経済も良くなると思うが、そういった状況まで来ておらず、残念である。
		百貨店（総務担当）	・店の売上の20%を占める菓子メーカーが撤退してしまい、この1年半で全体の売上が大きく減少になり、閉店せざるを得なくなった。非常に残念である。
		コンビニ（店長）	・1月中旬に当店の道路延長線上に、同じチェーンに属する店が新しくオープンする。当店商圏内であり、現在でも状況は芳しくないため、その影響を脱するのはかなり困難である。
		観光型ホテル（経営者）	・福島第一原子力発電所の事故の影響も残るなか、電気料金値上げに始まり、円安による油やガスの急激な高騰によるランニングコストの大幅増加が、経営に大きく負担になってくる。円高によるインバウンドの増加は円安時の減少より緩やかなため、訪日外国人増加による利益より燃料費負担増加が大きくなり、国内需要が減少傾向にあるため、結果、地方の景気は今後ますます悪くなる。
企業 動向 関連	良くなる	その他製造業【環境機器】 （経営者）	・今までのレンタルリースの上に新規契約が重なっていくため、企業の安定につながると思う。
	やや良くなる	窯業・土石製品製造業 （経営者）	・12月に政権交代があり、この先の希望として良くなって欲しい。株価も上がり、円安になっているため、良くなると思っている。
		窯業・土石製品製造業 （総務担当）	・季節的要因で、3月ごろまでは荷動き、売上が増加すると期待している。
		輸送用機械器具製造業 （経営者）	・このところ円安、株高になり、若干だが気持ちのほうが悪くなってきている。新政権がどうなるか分からないが、まともな政治運営をすれば、2、3か月先は良くなるのではないかと。
		通信業（経営者）	・新政権次第だが、景気対策に期待したい。
		司法書士	・少しずつ良くなっていることと、期待感が大きい。何とか良くしよう、良くしたいという期待感がある。
		経営コンサルタント	・年末の商業施設、観光施設など、これまでより人の動きが多く見られ、消費面が若干刺激されると思われる。
	変わらない	食料品製造業（営業統括）	・年末年始の売上増も期待できず、しばらくこの状況が続く。また、回復するのは春先になると思う。
		窯業・土石製品製造業 （経営者）	・受注、販売量共に見込みが立たない状況である。
		金属製品製造業（経営者）	・公共などの入札が取れば良くなるが、価格の面でなかなか取るのが難しい。そのため、本当によく分からない。
		一般機械器具製造業 （経営者）	・中国市場の建設機械も若干動き出したという情報もあるが、まだまだ在庫調整が終了する心配が感じられず、近々の回復は難しい状況にある。自動車関連も、軽自動車の売れ筋車種にコンパクトカーの市場が奪われている状況もあり、現在、当社が手がけているアイテムの増産は望めそうにない。
		一般機械器具製造業 （経理担当）	・様々なことがあまりにも複雑で、何をやっていいか分からない状態である。
		その他製造業【宝石・貴金属】 （経営者）	・株価の上昇によって景気の高揚を期待している。しかし、円安によって輸入材料が高騰しつつあり、将来への不安が残る。
		輸送業（営業担当）	・ようやく政権交代したが景気が上向く材料はなく、インフレ傾向でいくと、どうしてもお金の価値が下がる。特に円安によって燃料高になり、利益の幅が大分少なくなる模様である。物量的には、白物家電や春物向けの衣類等は前年並みに動きそうである。

		金融業（経営企画担当）	・円高の影響により、製造業において売上の増加が見込めない。
		金融業（役員）	・新政権で景気の回復策が出てきても、それが浸透するには半年なり1年かかると思う。したがって、すぐ良くなるとは考えられない。また、公共事業等の関連は良いが、その他の卸や小売の所は、先が見えない状況である。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・賞与が出せなくなった、前年より減ったという会社の話を4社聞いた。年末のカレンダー等も、注文は必要本数に絞る会社、今年からやめた会社もあると聞いている。
		社会保険労務士	・年末も特に忙しいわけでもない事業所が多く、春先までは、このままずるずるいくと思う。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・投資予算の圧縮は当面続き、厳しい状況が続くと思う。
	やや悪くなる	化学工業（経営者）	・3月の期末にかけての注文の話が、非常に少ない。取引先企業の3月末の利益確保が十分でないためである。
		電気機械器具製造業（経営者）	・自動車関係では中国の問題があり、大減産をしている。その影響で当社も受注量が4分の1ぐらいになってしまった。その他の仕事は例年どおりであることから、その落ち込み分が少し響いてくる。また、年度末に向けての在庫調整がどうなるかによって景気が左右されると思う。
		電気機械器具製造業（経営者）	・受注確保に懸命であり、先は分からない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・客先、同業各社を見ても、景気が上昇するような要因が見当たらず、全般的に製造業では陰りが見える。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・先行きの見通しが非常に悪い。政権が変わり、景気対策に力を入れるとのことで、早く実現してもらいたい。
		金融業（調査担当）	・海外需要の回復には、しばらく時間がかかるといった見方が多く、先行きの不透明感も拭えない状況にあるため、引き続き厳しい状況が続くと見ている。観光面では12月の寒波でスキー場には十分な積雪があり、スキー客の増加が期待される。ただ高速道路の崩落事故の影響があり、観光面への影響も懸念される。
		不動産業（経営者）	・経費削減が強いられ、必要な備品の購入も慎重になる傾向が定着してしまっている。周りも消費には消極的になっている様子が見られ、すぐには変わらないのではないかと。
		広告代理店（営業担当）	・年末商戦が静かに進行しており、活気に欠ける。そのまま年が明けて、盛り上がるのかが疑問である。
	悪くなる	食料品製造業（製造担当）	・円安に変わり、輸入の原材料がいよいよ値上がりしてきている。川上が上がっても、川下では相変わらずのデフレ状態にあるため、本当に厳しくなる。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・相変わらずの受注量や、価格競争による利益の低下のため悪くなる。
		一般機械器具製造業（経営者）	・親工場の海外移転と、自動車メーカーの減産により、受注量が減少しつつある。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・大手自動車メーカーの生産の3か月見通しを見ると、その前の見通しとのかい離が、やはり出てきている。特に2、3月については大幅に落ち込む予定ということで、減産基調に入ってきている。非常に困ったことになってきており、危機感を持っている。派遣社員を全部解約しており、人員を圧縮せざるを得ないと感じている。
		建設業（総務担当）	・公共工事主体で土木舗装工事を行っているが、12月末現在で受注が厳しい状況が続いている。3月で中小企業金融円滑化法が期限切れになり、銀行の対応が心配である。地域ファンドの話もあるが、建設業者には厳しい対応になると思う。
		不動産業（管理担当）	・建物維持管理には計画的な修繕が必要であるが、今後もその期間を不便のない程度に伸ばして経費を削減しようとする傾向は続くと思う。
雇用関連	良くなる やや良くなる	-	-
(北関東)		人材派遣会社（経営者）	・内閣等の動きが出たため、デフレからの脱却を期待している。自動車関連、携帯電話、スマートフォン等の細かい部品についての動きは、ある程度固く見込まれている。衣料品関係、それに伴う付帯用品は、かなり寒さも厳しい状況であるため、販売高の動きが出てくると思う。依然としてサービス業については募集傾向も根強く、頑張っしてほしいところである。
		人材派遣会社（経営者）	・小人数ではあるが、あちらこちらの会社から依頼があり、売上も良くなる予定である。
		人材派遣会社（営業担当）	・政権の交代で、建設関連をベースに景気浮上感がある。
	変わらない	求人情報誌製作会社（経営者）	・今の景気低迷が続くなか、しばらくは求人募集に対しても厳しい状況が続くであろう。

	職業安定所（職員）	・特段の新規求人の情報もなく、1月は新規求職の増加が見込まれる。悪い状況がこのまま続くと思う。
やや悪くなる	人材派遣会社（管理担当）	・年末の派遣需要が緩やかに減少し、回復の見込みがない。
	職業安定所（職員）	・11月の新規求人数は、前年同月比6.0%の増加となり、数字的には増加に転じている。具体的には、税務署から3月までの有期雇用で、確定申告の事務補助がパートタイムで60数名分求人があったため、若干の増加につながった。産業別での新規求人数は、先月同様製造業などで前年同月比25.7%減で求人については厳しい状況下にある。今後、管内の大手製造業などで雇用調整の実施があり、求職者が増加することも予想される。
	職業安定所（職員）	・12月に事業所閉鎖と大量離職を控えていることや、日中関係の悪化により事業の一部が縮小になる事業所があるため、景気回復の見通しは立っていない。
	職業安定所（職員）	・人員整理、人員縮小を行う事業所の情報がいくつか入ってきており、今後事業主都合離職者が増え、求職者全体の動きにも大きく影響する恐れがある。
悪くなる		